



医の風景

真っ赤な実をつけたナナカマド。モノトーンの世界に開ざされる冬の札幌で、ひとときわ鮮やかな色彩を放っている
 (札幌医科大学で、石井諭撮影)

新
真健康論

當瀬規嗣
 (札幌医科大学教授)



肝臓は栄養素貯蔵し不要物分解も

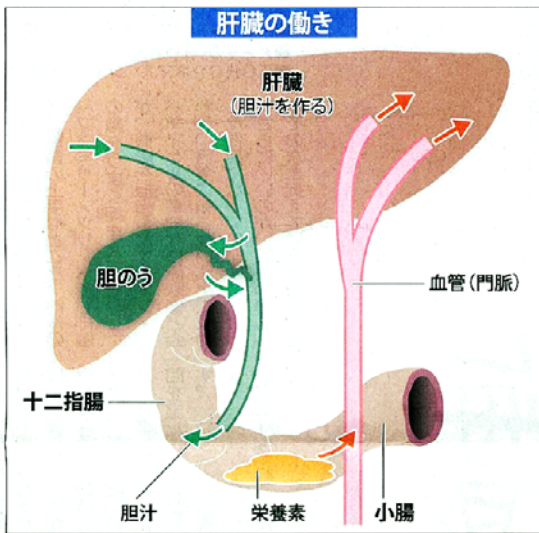
健康診断を受けると、血液を採られて、さまざまな検査値を知ることがあります。そこでは「肝機能に問題はありません」「肝機能の検査に異常がありません」などの結果が添えられています。血液を採ると肝臓の様子が変わるといふ方法です。「肝心」といふ言葉があるように、

健康診断を受けると、血液を採られて、さまざまな検査値を知ることがあります。そこでは「肝機能に問題はありません」「肝機能の検査に異常がありません」などの結果が添えられています。血液を採ると肝臓の様子が変わるといふ方法です。「肝心」といふ言葉があるように、

健康診断を受けると、血液を採られて、さまざまな検査値を知ることがあります。そこでは「肝機能に問題はありません」「肝機能の検査に異常がありません」などの結果が添えられています。血液を採ると肝臓の様子が変わるといふ方法です。「肝心」といふ言葉があるように、

健康診断を受けると、血液を採られて、さまざまな検査値を知ることがあります。そこでは「肝機能に問題はありません」「肝機能の検査に異常がありません」などの結果が添えられています。血液を採ると肝臓の様子が変わるといふ方法です。「肝心」といふ言葉があるように、

健康診断を受けると、血液を採られて、さまざまな検査値を知ることがあります。そこでは「肝機能に問題はありません」「肝機能の検査に異常がありません」などの結果が添えられています。血液を採ると肝臓の様子が変わるといふ方法です。「肝心」といふ言葉があるように、



胆汁
 十二指腸で分泌される消化液の一つ。肝臓で作られて、胆管を通じて胆のうにためられている。食べ物が十二指腸を通過する際に、胆のうから再び胆管を通じて分泌される。脂肪分を水になじませる作用をもち、脂肪の吸収を助ける役割を持つ。

私は学生に対し、肝臓のことを栄養素の「問屋さん」と説明していました。栄養素は腸から吸収され血液やリンパ液に入りますが、それが次に運び込まれるのが肝臓なのです。肝臓は糖分、脂肪、アミノ酸などの栄養素を取り込んでためこみます。食事から摂ったたんぱく質、全身で栄養素が不足してくると、肝臓はためておいた栄養素を血液に放出して供給します。ですから、もし肝臓がなかったら、人は空腹時に急速にエネルギー不足に陥り、倒れてしまうかもしれません。

もう一つ大事な働きは、全身の代謝によって生じた老廃物や不要物を分解する役割です。人の体で生じる主な老廃物は、アミノ酸を分解処理することで生じるアンモニアです。さらにアルコールを分解する最中に生じるアセトアルデヒドという物質が、肝臓の細胞を傷めることもわかっています。肝臓に無理をかけないように気を付けなければなりません。

とうせ・のりつぐ 1984年北海道大医学部卒、88年北海道大学院修了、医学博士。北海道大医学部助手、札幌医科大学助教授、米シンシナティ大助教授を経て、98年から現職。2006～10年、医学部長。専門は生理学・薬理学。

◇ 次回は「ドクターに聞きたい」です。テーマは「過敏性腸症候群」。